

『学科専攻別3つのポリシー』

〈学位授与方針〉 〈教育課程の編成・実施方針〉 〈進学生・編入学生の受け入れ方針〉

1. 教育学科教育学専攻の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

教育学専攻の所定の課程を修了し、次のような資質・能力を備えた者に学士（教育学）の学位を認め、社会に送り出します。

1. 教育学に関する幅広い専門的知識と基本的な研究・調査能力。
2. 教育への本質的理解にもとづいて現代の教育課題に真摯にかつしなやかに取り組み、課題の解決に向けて論理的・創造的・批判的に思考し、行動する能力。
3. 自己の関心を追求し、適切な方法をもって問題の解決に取り組む姿勢。
4. 他者との協働を通して根本的な問題等に対応する姿勢。
5. 学校教育現場および 企業、地域社会、政府機関や国際機関など、国内外の幅広く多様な現場で活躍する資質。
6. 柔軟性と創造性をもって社会貢献し、より公正な社会の構築に寄与できる力。
7. さまざまな教育現場で求められる豊かな感性及び自己表現力と他者とのコミュニケーション能力。
8. 一人ひとりのかけがえのない「いのち」と「こころ」を大切にする社会の実現に貢献しようとする姿勢と意欲。
9. 生涯にわたり、学ぶ姿勢と意欲。

2. 教育学科教育学専攻の教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

教育学専攻では、上記のディプロマ・ポリシーを実現するため、以下のような方針で2年次（編入学生含む）から4年次への教育課程を編成しています。

1. 教育学全般を幅広く、また体系的に理解し、教育への関心を深めるための「教育学概論」を全体の基盤として位置づける。
2. 焦点化された学習が可能となるように「子どもと学びの基礎研究」、「情報教育とメディア開発」、「グローバル教育と生涯学習」の3コースを設置し、各コースにおいて多様かつ専門的な教育学関連科目を置く。
3. 開設科目は教育学の幅広い領域を覆い、最新のテーマに対応できるよう多様な展開に努めるが、学生自身の関心に基づく選択履修の機会を最大限に保証するために、必修科目を最小限にとどめる。
4. 国内外のスタディツアーを通して現代社会の実践的課題やその解決に従事する専門家に直接に触れ、創造的思考や批判的思考を養う機会を設ける。
5. 研究方法を身に付け、問題関心を発展させるための少人数の演習科目を全学年に置く。多様な関心に応えるとともに、次第に教育学の専門的な研究方法へと導く。3年次には 自己の問題関心

を追求することのできるプロジェクト型の科目を置き、研究能力を高め自己の力に挑戦する機会とする。これらの過程を通して専門的な追求力を深めた上で、各自の課題設定により卒業論文を作成する。

6. 教育学科の特色ある科目群として「人間学習」を多数展開し、協力して行う体験的な授業を通して、自己を開き、表現して他者と交流する学びの在り方を追求する。

7. 2年次（編入学生含む）から4年次への具体的な展開方針は次のようである。

2年次: 教育学の基礎を学び、教育学的な問題のとらえ方を理解する。現代的な教育の課題への関心を深め、視野を広げる。

3年次: 教育学について発展的に学び、その実証的な研究方法を理解する。現代的な教育の課題に実践的に取り組むための知識と技能を身につける。

4年次: 教育学の深い理解に基づき、柔軟性と創造性をもって教育の諸問題を探究する。身に付けた力を生かし社会貢献の道を切り拓く。

3. 教育学科教育学専攻の進学生・編入学生の受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

教育学専攻では、さまざまな教育問題を取り上げながら、教育学を基礎とした理論と方法を学習します。単に必要な知識を身につけるだけでなく、豊かな感性や心を育てることも大切にしています。

本専攻では、次のような資質・能力を持つ皆さんに進学・編入学してもらいたいと願っています。

1. 教育の持つ社会的重要性と人間形成上の意義についての興味、関心
2. 教育の本質を実証的に理解しようとする知的探究心
3. 広範で多様な現代の教育問題への関心と課題解決への意欲
4. 生涯にわたり学びつづけ、自己向上に積極的に努めようとする気概

教育現場、企業、地域社会、国際社会など、さまざまな「学びの場」で活躍したいと考えている意欲的な学生であることが望まれます。

2017年3月31日更新